

報道関係者各位

2018年10月吉日

全国の地方新聞社が選んだ! 『こんなのあるんだ! 大賞2018』 11月2日(金)~4日(日)「全国ふるさとフェア2018」に出店!

平素は格別のご厚情を賜り、ありがたく御礼を申し上げます。

この度、全国の地方新聞社厳選お取り寄せサイト「47CLUB(よんななクラブ)」を運営する(株)47CLUB(東京都中央区)は、「全国の地方新聞社が選んだ! 『こんなのあるんだ! 大賞2018』」を開催に向け、11月2日(金)~4日(土)に横浜・赤レンガ倉庫にて開催される「全国ふるさとフェア2018」に出店いたします。

ブースでは11月13日に開催される全国大会に出場する6つの「ブロック予選通過商品」を試食・販売。また、本年度各ブロックのエントリー商品や過去の優秀賞品を含めて約30商品を展示・試食いただけます。全国の地方新聞社が選んだ『こんなのあるんだ!』商品をぜひご賞味ください!



- イベント名 : 全国ふるさとフェア2018
- 日時 : 2018年11月2日(金) 11:00~19:00 11月3日(土)、4日(日) 10:00~18:00
- 会場 : 横浜 赤レンガ倉庫 イベント広場
- 内容 : 「ブロック予選通過商品」の試食・販売。予選エントリー商品や過去の優秀商品の展示・試食
- イベントHP : <http://furusatofair.jp/>

■ 「こんなのあるんだ! 大賞2018」概要 ■

全国を6つにブロック分けした地方予選を勝ち抜いた代表商品6商品が最終候補として全国大会に進出。11/13の全国大会で各事業者が最終プレゼンテーションを行い、会場内に集う全国の地方新聞社による投票を経て、本年度販売された3万5,000商品の中から、最も「こんなのあるんだ!」と新聞社が唸った商品の賞を決定・表彰いたします。



2017年度大賞『餅つき餅カレー』

「こんなのあるんだ! 大賞2018」公式サイト(全エントリー商品掲載)
https://www.47club.jp/contents1/arunda_2018_index.html

47CLUB(よんななクラブ)

商号 : 株式会社47CLUB(よんななクラブ)
代表者 : 代表取締役社長 栗田 健一郎
設立 : 平成20年7月
事業内容 : 全国の地方新聞社厳選の商品を扱う中小事業者
に対して、ECを始めとした様々な販路の提供
所在地 : 東京都中央区築地1-12-6 4F
URL : <http://www.47club.jp/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社47CLUB(よんななクラブ)
広報: 射場(いば)、八木
電話: 03-5148-4747
E-Mail: pr@47club.jp

「全国ふるさとフェア2018」 販売商品一覧

■北海道・東北ブロック大会代表 【岩手県】岩手日報社推薦

岩手の極旨珍味！一匹のタコから一つしか取れない希少部位！



北三陸タコとんびバル (株式会社 越戸商店)

<https://www.47club.jp/06M-000038tlq/goods/detail/10118220/>

ミズダコの産地として有名な北三陸・岩手。タコ一匹から一つしか取れないのが、タコの口「タコとんび」です。味と食感はタコの部位で一番。「知る人ぞ知る」極旨珍味。燻製とレモンの風味が香るタコとんびは、タコならではの食感、噛めば噛むほど「ジワッ」とひろがる旨味が特長で、ワインなどお酒のおつまみにもぴったりです。

■関東ブロック大会代表 【栃木県】下野新聞社推薦

あのカツ丼がそのままぎゅっとつまった、ありそうでなかった中華まん



ツルミのカツ煮まん (ツルミ食堂)

<https://www.47club.jp/katsuniman/goods/detail/10114074/>

ごはんの上に乗ってこそ完成する「カツ丼」を、中華まんという形で再現し、自宅でも手軽に楽しめるものとして商品化。ツルミ食堂に来店したお客様が片手で子供を抱えながら、もう片方の手で食べづらそうにカツ丼を食べる姿を何度も目にしたことが1つのきっかけとなって誕生したという、地域の人々への店主の思いが詰まった商品です。

■北信越ブロック大会代表 【福井県】福井新聞社推薦

「天皇の料理番」が生まれ育った地で完成した「黄金の梅ゼリー」



金ノ梅ノ美「黄金の梅」のまるごと生ゼリー (株式会社 新珠食品)

<https://www.47club.jp/26M-000097ict/goods/detail/10117878/>

福井県越前市出身で、「天皇の料理番」として知られる秋山徳蔵を象徴的存在として、地域のイメージアップにつなげようと立ち上げたブランド事業の中の1商品。同市の「新珠製菓」が地元の河野梅生産組合と事業連携しながら、福井梅の品種「新平太夫」といわれる“黄金の梅”を使用して商品開発。種が小さく果肉が厚く良質の梅として高い評価を受ける黄金の梅を、味でも見た目でも楽しめる一品。

「全国ふるさとフェア2018」 販売商品一覧

■ 東海・近畿ブロック大会代表 【京都府】 京都新聞社推薦

「伝統」と「革新」が生んだ新感覚スイーツ



料亭のちりめんナッツ (株式会社 下鴨茶寮)

<https://www.47club.jp/27M-000100otg/goods/detail/10116691/>

京都で長年愛されてきた「ちりめん山椒」。その昔ながらの定番商品にナッツやドライフルーツなど若い方に人気の食材を組み合わせ、幅広い世代の方に食べていただける「新感覚スイーツ」。お茶請けや日本酒の肴、ワインのアパタイザーなど和・洋問わず幅広いシーンに合わせることができ、まさに「伝統」と「革新」が生んだ「こんなのあるんだ!」なスイーツ。

■ 中国・四国ブロック大会代表 【岡山県】 山陽新聞社推薦

地元紙すき和紙職人のきれいな手から着想 『産学連携』で生まれたミツマタエキスの美容液



結の香 ホワイトセラム (株式会社エイチケイ商会)

<https://www.47club.jp/32M-000077ded/goods/detail/10114197/>

紙幣の原料に使われるミツマタの産地・岡山県真庭市にある「エイチケイ商会」が開発。もともとガソリンなどの燃料販売を展開していましたが、経営多角化のため米のギフト販売を始め、パッケージに和紙を使用。その際、手すき和紙職人の手肌がきれいなことに気づき、化粧品への応用を思いついたのが誕生のきっかけ。岡山理科大と連携し、しみやそばかすの原因となるメラニン色素の生成を抑える働きを突き止め、美白化粧品として商品化しました。

■ 九州・沖縄ブロック大会代表 【鹿児島県】 南日本新聞社推薦

老舗種麴屋がつくる甘酒をブレンドしたご当地カレー！



麴屋の甘酒カレー (有限会社 河内菌本舗)

<https://www.47club.jp/47M-000039onn/goods/detail/10114669/>

米と麴だけを使った河内源一郎商店グループの商品「麴屋の食べる甘酒」の特徴であるとろみ、コクが加わったご当地カレー。同社は、九州の焼酎メーカーに麴を卸している全国に数店舗しかない老舗の種麴屋で、自社麴工場の甘酒、自社農場の黒麹豚を使って開発した珍しい商品。ご当地カレーとしてもじわじわと注目を集めています。